

## 授業展開例（音楽）

- 1 校種・学年 中学校・第1学年
- 2 単元（題材）名 「合唱の喜び」～混声合唱「涙をこえて」～

- 3 単元（題材）について

単元（題材）観

本校1学年の生徒は4月より、イメージリスニング（曲を聴いて浮かんだイメージを統合し、曲に合うストーリーを創る活動）を行いながら、個人が持つ自由な想像力を深めてきた。それによって、歌詞の内容や曲想をより深く感じ取り、言葉にあった歌い方や、抑揚を意識し、感情をこめた歌唱表現を意識できる力を育成している。

本題材では、歌詞の内容や曲想を感じ取って、歌唱表現を工夫するとともに、声部の役割を感じ取り、全体の響きを意識した合唱や合奏をすることを学ぶ。特に、合唱においては、自分たちの歌唱録音を聴いて課題を見つけ、話し合うことによって、声部の役割を意識し、全体の響きに気をつけて合唱することが出来る力を育成したい。

生徒観 省略

指導観

声部の役割を意識し、全体の響きに気をつけて合唱することが出来る力を育成していくためには、グループワークを行うことが効果的な指導であると考え。グループワークでは、全員の合唱を録音したテープを聴いて、拡大楽譜に基づき、課題や改善点について話し合わせ、それを発表するという学習活動を行う。このことをとおして、生徒間で課題や改善点を共有させ、表現豊かで、各パートのバランスが取れ、全体の響きを意識した合唱を作り上げることができると考える。

なお、1年生では、これまでも恥ずかしがらずに声を出すことに重点をおいて指導を継続してきた。その結果、生徒は、声を出して歌うことに対して抵抗感が少ない。しかし、今後、男子生徒は変声期を迎えるため、発声に自信をなくすことがないように配慮した指導を行う必要がある。

- 4 単元（題材）の目標

- ・歌詞の内容や曲想を感じ取って、歌唱表現を工夫すること
- ・声部の役割を感じ取り、全体の響きに気を付けて合唱や合奏をすること。

【人権教育の視点】

よりよい合唱表現を目指して互いの意見を交流することを通して、共感的人間関係を育むとともに、コミュニケーション技能を高める。

- 5 単元の評価規準

ア 関心・意欲・態度	イ 音楽的な感受や表現の工夫	ウ 表現の技能
歌詞の内容や曲想に関心を持っている。 (行動観察・自己評価)	声部の役割を理解し、全体の響きを感じて歌唱表現を工夫している。 歌詞の内容、曲の表現要素を理解し、それらを生かした歌唱表現を工夫している。	声部の役割を理解し、全体の響きを感じて歌唱表現をしている 歌詞の内容、曲の表現要素を理解し、それらを生かした歌唱表現をする技能を身に付けている

6 指導と評価の計画（全 5 時間）

次	時	学習内容（時数）	評価					
			関	感	技	鑑	評価規準	評価方法
1	1	歌を聴いて，ドラマを作ろう。 ～イメージリスニング～ この歌の設定は？（1）					・歌詞の内容や曲想に関心を持っている。 ・曲の特徴をつかみ，自由なイメージを持つことができる。	・ワークシート，行動観察，自己評価（アイ）
2	2	パート練習 No.1（1）					・声部の役割を理解し，歌唱表現している。	・行動観察・自己評価（イウ）
	3	パート練習 No.2 全体合唱 No.1（1）					・曲の表現要素を理解し，それらを生かした歌唱表現を工夫し，表現をする技能を身に付けている。	・行動観察・自己評価（イウ）
3	4	全体合唱 No.2 「他声部の役割を感じ取り，全体の響きを意識した歌唱表現を工夫しよう」（1）【本時】					・声部の役割を理解し，全体の響きを感じて歌唱表現を工夫している。	・行動観察・自己評価（イウ）
	5	全体合唱 No.3 各班3分のプレゼンテーション 「課題を見つけ，より良い合唱の響きを表現しよう」（1）					・声部の役割を理解し，全体の響きを感じて歌唱表現をしている。	・行動観察・自己評価（ウ）

7 本時の展開

(1) 本時の目標

声部の役割を意識し，全体の響きを意識した歌唱表現を工夫しよう。

(2) 観点別評価規準

音楽的な感受や表現の工夫

- ・声部の役割を理解し，全体の響きを感じて歌唱表現を工夫している。
- ・歌詞の内容，曲の表現要素を理解し，それらを生かした歌唱表現を工夫している。

(3) 準備物

拡大楽譜, 生徒の全体合唱を録音したCD, 混声合唱曲集『コーラスフェスティバル』

(4) 学習の展開

	学習活動	指導上の留意点	評価規準	評価方法
導入	篠笛を演奏する。 曲名:「かえるが鳴くから帰る」「なべなべ底抜け」「夜鳴きそば」「さおだけ」「さくら」	所作を意識させる。 難しい運指を重点的に練習させる。		・行動観察
	柔軟体操 発声練習及び斉唱 曲名:「校歌」「涙をこえて」	合唱隊形になり, 1列ごとに, 口をしっかりと開いて歌うよう指導する。		・行動観察
展開	4人一組のグループに分かれて, 前回録音した自分達の合唱「涙をこえて」を聴き, よりよい合唱にするために何が改善できるかを検討し, 注意すべき点を配付した拡大楽譜に記入していく。	ハーモニーを感じるためには他のパートの動きを知る必要があることに気付くよう, 机間指導を行う。 全員が発言し, 互い発言を大切に, そのよさに気付くよう指導を行う。 発言できていない生徒に配慮し, 適切な支援を行う。	・声部の役割を意識し, 全体の響きを感じて歌唱表現を工夫しようとしている。 イ	・行動観察
まとめ	全体合唱  自己評価表を記入し, 本時の学習をふりかえる。	グループワークで検討した内容を意識して歌えているところをしっかりと認め, 肯定的な評価を行う。 本時の目標が達成できたかふりかえらせる。 次回, 注意点を記入した拡大楽譜をもとに, 各グループ3分のプレゼンテーションを行うことを伝える。	・声部の役割を理解し, 全体の響きを感じて歌唱表現をしている。ウ	・自己評価表